

# 親子聖書日課

NO.1619 2019.10/6-12

名前

[日] エステルは同胞の滅びを黙って見ていることはできず、「涙を流し」て王に直訴しました。この熱き祈りが同胞を救いました。パウロも同胞の救いのために涙を流して祈りました。私達も日本人の救いのために、涙を流して絶えず祈りましょう。

[月] モルデカイの布告で、敵の持物を奪い取ることが許されたのに、手をつけません。勝利品に溺れたアカンのように、身を滅ぼさないためです。人の物を欲しがってはいけません。霊の戦いに、欲は禁物。むしろ、持物を捧げて、天に宝を積みましょう。

[火] 主を救い主として信じる日が「今日のプリムの日」です。その日は「悩みが喜びに、嘆きが祭りに変わる」のです。主は私達の罪を十字架で赦し、復活して死に勝利しました。信仰者はいつも「Oh Happy Day」悲しみも喜びに変わります。

[水] ヨブ記は、義人がなぜ苦しみに遭うのか、その苦しみにいかに対処すべきかを問いかけています。ヨブは災いの中で、「主の御名をほめたたえられよ」と主を礼拝しました。楽しい時だけでなく、苦しい時に、悲しい時も、礼拝を捧げましょう。

[木] ヨブほどの苦しみに遭った時、彼のように「不幸もいただく」と言えるでしょうか。むしろ、彼の妻のように、「神を呪って」しまいそうです。しかし、神は試練を通して、私達の信仰をテストしています。サタンに負けて、罪を犯してはいけません。

[金] 人は誰でもヨブのような苦しみに遭った時、「自分はなぜ生まれてきたのだろうか」と人生を呪いたくなります。しかし、呪ったところで救いはありません。「ただ神の御業が現れるために」との主の言葉を受け入れて、むしろ、主をほめたたえましょう。

[土] エリファズの主張は、悪人には災いがあるが、善人には幸福があるというものでした。しかし、一懸命生きた人が災いに遭うと、因果応報論では納得できません。災いの背後にはどんな神の御心があるのかを聴くことが、唯一納得できる道です。



|          | 聖書           | 問題                            | 答え |
|----------|--------------|-------------------------------|----|
| 日        | エステル記 8:3-17 | エステルは同胞の何を見るに忍びませんでしたか。       |    |
| 月        | 9:1-19       | 持ち物はどうしましたか。                  |    |
| 火        | 9:20-10:3    | 悩みが喜びに、嘆きが祭りに変わった日を、何と呼びましたか。 |    |
| 水        | ヨブ記 1:1-21   | 主は与え、主は奪う、主の御名はどうすべきですか。      |    |
| 木        | 2:1-13       | 私たちは神から幸福を頂いたのだから、何も頂こうではないか。 |    |
| 金        | 3:1-26       | ヨブは口を開き、何を呪いましたか。             |    |
| 土        | 4:1-21       | 彼らは何によって滅びますか。                |    |
| 感想と祈りの課題 |              |                               |    |